

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【公表番号】特表2007-532629(P2007-532629A)

【公表日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-044

【出願番号】特願2007-507872(P2007-507872)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/10 (2006.01)  
A 6 1 K 47/06 (2006.01)  
A 6 1 K 47/12 (2006.01)  
A 6 1 K 47/14 (2006.01)  
A 6 1 K 47/08 (2006.01)  
A 6 1 K 47/28 (2006.01)  
A 6 1 K 47/32 (2006.01)  
A 6 1 K 47/20 (2006.01)  
A 6 1 K 47/18 (2006.01)  
A 6 1 K 47/24 (2006.01)  
A 6 1 K 47/22 (2006.01)  
A 6 1 K 47/38 (2006.01)  
A 6 1 K 47/36 (2006.01)  
A 6 1 K 47/42 (2006.01)  
A 6 1 K 9/48 (2006.01)  
A 6 1 K 9/20 (2006.01)  
A 6 1 K 9/10 (2006.01)  
A 6 1 K 9/06 (2006.01)  
A 6 1 K 9/02 (2006.01)  
A 6 1 K 9/12 (2006.01)  
A 6 1 K 45/00 (2006.01)  
A 6 1 K 38/00 (2006.01)  
A 6 1 K 31/715 (2006.01)  
A 6 1 K 31/7052 (2006.01)  
A 6 1 K 31/727 (2006.01)  
A 6 1 K 31/737 (2006.01)  
A 6 1 K 31/728 (2006.01)  
A 6 1 K 31/711 (2006.01)  
A 6 1 K 31/7105 (2006.01)  
A 6 1 K 39/00 (2006.01)  
A 6 1 K 38/28 (2006.01)  
A 6 1 K 38/21 (2006.01)  
A 6 1 K 38/26 (2006.01)  
A 6 1 P 5/00 (2006.01)  
A 6 1 P 3/10 (2006.01)  
A 6 1 P 15/08 (2006.01)  
A 6 1 P 19/10 (2006.01)  
A 6 1 P 27/16 (2006.01)  
A 6 1 P 25/00 (2006.01)  
A 6 1 P 25/28 (2006.01)  
A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/14 (2006.01)  
A 6 1 P 9/10 (2006.01)  
A 6 1 P 7/02 (2006.01)  
A 6 1 P 3/00 (2006.01)  
A 6 1 P 3/04 (2006.01)  
A 6 1 P 3/02 (2006.01)  
A 6 1 P 13/12 (2006.01)  
A 6 1 P 7/00 (2006.01)  
A 6 1 P 7/06 (2006.01)  
A 6 1 P 29/00 (2006.01)  
A 6 1 P 37/02 (2006.01)  
A 6 1 P 31/04 (2006.01)  
A 6 1 P 31/12 (2006.01)  
A 6 1 P 31/10 (2006.01)  
A 6 1 P 33/00 (2006.01)  
A 6 1 P 35/00 (2006.01)  
A 6 1 P 25/24 (2006.01)

## 【 F I 】

A 6 1 K 47/10  
A 6 1 K 47/06  
A 6 1 K 47/12  
A 6 1 K 47/14  
A 6 1 K 47/08  
A 6 1 K 47/28  
A 6 1 K 47/32  
A 6 1 K 47/20  
A 6 1 K 47/18  
A 6 1 K 47/24  
A 6 1 K 47/22  
A 6 1 K 47/38  
A 6 1 K 47/36  
A 6 1 K 47/42  
A 6 1 K 9/48  
A 6 1 K 9/20  
A 6 1 K 9/10  
A 6 1 K 9/06  
A 6 1 K 9/02  
A 6 1 K 9/12  
A 6 1 K 45/00  
A 6 1 K 37/02  
A 6 1 K 31/715  
A 6 1 K 31/7052  
A 6 1 K 31/727  
A 6 1 K 31/737  
A 6 1 K 31/728  
A 6 1 K 31/711  
A 6 1 K 31/7105  
A 6 1 K 39/00  
A 6 1 K 37/26  
A 6 1 K 37/66

Z

A 6 1 K 37/28  
 A 6 1 P 5/00  
 A 6 1 P 3/10  
 A 6 1 P 15/08  
 A 6 1 P 19/10  
 A 6 1 P 27/16  
 A 6 1 P 25/00  
 A 6 1 P 25/28  
 A 6 1 P 25/16  
 A 6 1 P 25/14  
 A 6 1 P 9/10  
 A 6 1 P 9/10 1 0 1  
 A 6 1 P 7/02  
 A 6 1 P 3/00  
 A 6 1 P 3/04  
 A 6 1 P 3/02  
 A 6 1 P 13/12  
 A 6 1 P 7/00  
 A 6 1 P 7/06  
 A 6 1 P 29/00 1 0 1  
 A 6 1 P 37/02  
 A 6 1 P 31/04  
 A 6 1 P 31/12  
 A 6 1 P 31/10  
 A 6 1 P 33/00  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 P 29/00  
 A 6 1 P 25/24

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月11日(2008.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

治療有効量のエフェクター、少なくとも1つの脂肪酸の塩、および疎水性媒体の懸濁液を含む、組成物。

【請求項 2】

前記脂肪酸の塩が、オクタン酸ナトリウム、デカン酸ナトリウム、またはドデカン酸ナトリウムである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記脂肪酸の塩が、オクタン酸ナトリウムまたはデカン酸ナトリウムである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記エフェクターおよび前記脂肪酸の塩が、水溶性媒体から凍結乾燥される、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 5】

膜流動化剤をさらに含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記疎水性媒体が、脂肪族化合物、環状化合物、または芳香族化合物を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記疎水性媒体が脂肪族化合物を含む、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記脂肪族化合物は、鉱油、パラフィン、脂肪酸、モノグリセリド、ジグリセリド、トリグリセリド、エーテル、またはエステル、あるいはそれらの組み合わせである、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記トリグリセリドが、長鎖トリグリセリド、中鎖トリグリセリド、または短鎖トリグリセリドである、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記トリグリセリドは長鎖トリグリセリドである、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記長鎖トリグリセリドが、ヒマシ油である、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記脂肪族化合物がエステルである、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記トリグリセリドが、短鎖トリグリセリドである、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 14】

前記短鎖トリグリセリドが、グリセリルトリブチラートである、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

さらにレシチン、胆汁酸塩、または非イオン性界面活性剤を含む、請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 16】

前記組成物は、クレモフォア、ポリエチレングリコール脂肪アルコールエーテル、ソルビタン脂肪酸エステル、Solutol HS 15、またはポロキサマーである非イオン性界面活性剤を含む、請求項 1 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 17】

モノグリセリドをさらに含む、請求項 1 ~ 16 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 18】

前記モノグリセリドは、グリセリルモノオクタノエート、グリセリルモノデカノエート、グリセリルモノラウレート、グリセリルモノミリステート、グリセリルモノステアレート、グリセリルモノパルミテート、またはグリセリルモノオレエートである、請求項 17 に記載の組成物。

【請求項 19】

前記モノグリセリドは、グリセリルモノオレエートである、請求項 18 に記載の組成物。

【請求項 20】

前記非イオン性界面活性剤は、ソルビタンモノラウレート、ソルビタンモノオレエート、またはソルビタンモノパルミテートである非イオン性界面活性剤を含む、請求項 16 に記載の組成物。

【請求項 21】

前記エフェクターが、タンパク質、ポリペプチド、ペプチド、グリコサミノグリカン、多糖、または核酸である、請求項 1 ~ 20 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 22】

前記脂肪酸の塩は、オクタン酸ナトリウムであり、そして前記疎水性媒体は、ヒマシ油である、請求項 1 ~ 21 のいずれか 1 項に記載の組成物。

**【請求項 23】**

グリセリルモノオレートおよびソルビタンモノパルミテートをさらに含む、請求項 22 に記載の組成物。

**【請求項 24】**

グリセリルトリブチラート、レシチン、および少なくとも 1 つの安定剤をさらに含む、請求項 23 に記載の組成物。

**【請求項 25】**

前記エフェクターは、成長ホルモン、副甲状腺ホルモン、副甲状腺ホルモンアミノ酸 1 - 34 (PTH (1 - 34))、低分子量ヘパリン、ペプチド、またはフォンダパリヌクスである、請求項 1 ~ 24 のいずれか 1 項に記載の組成物。

**【請求項 26】**

前記エフェクターは、成長ホルモンである、請求項 25 に記載の組成物。

**【請求項 27】**

前記エフェクターは、副甲状腺ホルモンアミノ酸 1 - 34 (PTH (1 - 34)) である、請求項 25 に記載の組成物。

**【請求項 28】**

前記エフェクターは、フォンダパリヌクスである、請求項 25 に記載の組成物。

**【請求項 29】**

代謝障害を処置するための、請求項 1 ~ 26 のいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記エフェクターは成長ホルモンである、組成物。

**【請求項 30】**

骨粗鬆症を処置するための、請求項 1 ~ 25 および 27 のいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記エフェクターは、PTH (1 - 34) である、組成物。

**【請求項 31】**

抗凝血処置のための、請求項 1 ~ 25 および 28 のいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記エフェクターは、フォンダパリヌクスである、組成物。

**【請求項 32】**

カプセル内に含まれる、請求項 1 ~ 31 のいずれか 1 項に記載の組成物。

**【請求項 33】**

錠剤、乳剤、クリーム、軟膏、坐薬、またはスプレー式点鼻薬の形態である、請求項 1 ~ 31 のいずれか 1 項に記載の組成物。